

みやき蔵王三十六景

ゆったり湯ったり白鳥めぐりコース



真っ白な雪化粧をまとった蔵王連峰。その蔵王に見守られて越冬する白鳥たち。冬の一日白鳥たちが集う場所を巡るコースを御案内します。

国道4号大河原バイパスより仙南運転免許センター方面に約500m南下した白石川堤防に整備された「大河原河川公園」では多くの白鳥が羽を休めています。2月には白鳥を守る会が主催する「白鳥観察会」もあり、白鳥のことを詳しく勉強することが出来ます。

県道丸森祭田線の角田市金津中学校付近を東に折れ約500m行くと「内町湖」。農業用のため池として整備されたもので、冬は白鳥が羽を休めてくれます。「内町湖」の白鳥観察小屋の対岸を上流方向に進むと、平安時代末期ころ、伊具十郎 平永衛が築いたと伝えられる八電城跡があります。伊具十郎平永衛は安倍頼時の娘婿で、前九年の役では源頼義に従いましたが、頼義によって斬られたとされています。伊具十郎と称し、伊具都あたりを領有していたとされています。

「内町湖」から県道を南下すると「金山しんつつみ」があります。ここも、農業用のため池として整備されたものですが、今は、周囲の水田には阿武隈川からポンプアップした水を溜ためたため、農業用としての役目は終わりました。周囲の住民有志の方々が白鳥の住みやすい環境に配慮して、白鳥を温かく見守っています。湖面にセリ出した手作りの観察用スペースも地域の方々の手作り。

「東白石駅」のプラトホームからも白石川で羽を休める白鳥を観察することが出来ます。プラトホームと平行して川が流れており、川の対岸は蔵王町宮の白石川白鳥公園でも2月に白鳥まつりが開催されています。

大河原河川公園近くの大高山神社(大河原町金ヶ瀬)や蔵王町宮の刈田嶺神社には白鳥大明神が祭られており、刈田嶺神社の白鳥塚には寛文13年(1673)作のものがあり、当時から仙南地域には、白鳥がやって来たことがうかがえます。

仙南の白鳥とふれあいをお楽しみください。

時期	コース名	移動方法	起点	移動時間
12月～3月	ゆったり湯ったり白鳥めぐりコース	自動車	村田インター起点	20分
			22 大河原河川公園 (大河原町)	30分
			6 内町湖 (角田市)	15分
			35 金山しんつつみ (丸森町)	60分
			3 東白石駅 (白石市)	30分
			村田インターまで	

農産物直売所等			体験農園等 (動物ふれあいやい)	温泉		
JAふれあい農産物直売所 (丸森町)	角田市 葉っぱ市 (角田市)	もちぶた館 (大河原町)	村田町 物産交流センター	もちぶた館 (大河原町)	神治部温泉 (丸森町)	山竹温泉 (蔵王町)
(土・日)						おのがわら天然温泉 (大河原町)